寄付者一覧

本部

北栄パイピング（株）・山本仁・五井建築設計研究所・玉野道・能美市 東英之・小松市野田町 塚谷善良・堀日出夫・村田晃・（株）フジタ・藤田智樹・エオネックス（株）・市山勉 田代和子・三谷産業イー・シー（株）・カナカン・トランテックス労働組合・中奥ボランティアの会・NPO法人 ブードバンクいしかわ・SWS西日本(株)・住友電装グループ 山田 平田・高峰生菓子舗 新田 上野

星が岡牧場

金沢城 兼六園 管理事務所・中口社子・岩本準一郎・農誠会・丸田均・村井成子・中村香・北川吉則・JA能美婦人部・（株）サウサリート 代表取締役 蔵西健治・辰口校下婦人会・一真鍼灸院 近藤純郎先生

日本海倶楽部

渡邊和幸・南龍保・井手一夫・谷口健司・泉広栄・板倉兄一郎・向井和彦・村中幸子・千場ヨシ子・堂野前公子・河島進・鮫治みさを・東喜久二・山本博・北栄パイピング（株・有）新谷スパー（有）山本醤油

エイブルベランダBe

（株）ダスラー 取締役営業本部長 桧原大輔・カナカン（株）乾親会 会長 高島成久・長谷川幸雄・Share金沢サービス付き高齢者向け住宅 川畑美江・北陸地区青森りんごの会 会長 杉本外雄・青森県りんご対策協議会 会長 陽保直延

Share金沢

（株）日立製作所 親切会

Hearl&Beer日本海倶楽部 クリスマスパーティ2013協賛社一覧

アートプラザ373・内浦店・オイラー（株）・（株）鍵主工業・ナナカン（株）・（株）コーシン・ダスキン北陸（株）・直川クリーニング（株）・たまき酒店・ダートコーヒー（株）・日本ツアーシステム（株）・（有）能登浄化槽管理センター・（株）ビッグオート・（株）北陸サンライズ・北陸綜合警備保障（株）・松波酒造（株）・丸菱・アジア加工（株）・（株）フレッシュフィールド・コカ・コーラボトリング（株）

交流招待一覧

たくさんの助成をいただきました。ありがとうございました。

石川県共同募金会 白山共同募金委員会より B's work、美川37work、B's Homesに助成金を頂きました。

（財）日本財団より B's Homes日本海倶楽部、エイブルベランダBe にステップワゴンを助成として頂きました。

（社福）清水基金一般助成事業より日本海倶楽部にイベント販売用ダブルキャブ冷蔵トラックを助成して頂きました。

公益信託能登町エンデバーファンド21より日本海倶楽部に除雪機2台分の助成を頂きました。

トランテックスより B's へバスの寄贈を頂きました。

北陸中日新聞社会事業団より西圓寺へ義援金を頂きました。

能登町交通安全協会より日本海倶楽部に反射たすきを頂きました。

コープいしかわ社会貢献基金より西圓寺に助成金をいただきました。

B's

石川真美・北出理恵子・西郷沙輝・尾張美美・桑野晋・岩崎晃太・形谷武馨・安井夏月・宮眞衣・中奥ボランティア

星が岡牧場

いしかわ特別支援学校 高等部 先生 生徒33名・金沢工業大学 学生 杉本・あさひが丘学園 施設長 水流純夫 他3名・厚生労働省 社会 援護局 障害保健福祉部 障害保健福祉課 就労支援専門官 山科正寿・舟見ケ丘保幼園 園児10名 職員6名・福井県立大学看護福祉学部 社会福祉学科4回生 西由奈・NPO法人クロスジョブKOBE 副理事長 東良太郎・横浜市発達障害者支援センター 相談員 佐藤雄太・ワークアシスト（社福）横浜やまびこの里 関まさみ・小松特別支援学校 佐々木先生・アリス学園 先生

三草二木 西圓寺

石川テレビ放送・石川県リハビリテーションセンター・（社福）依田窪福祉会 事務長 山崎勝彦・NPO法人 楽笑・（社福）半田社会福祉協議会 半田市障がい者相談支援センター・（社福）ダブルエッチジェー・小松市桧松地区民生児童委員協議会・社会福祉事業大学 准教授 井上紀子・（財）高齢者住宅財団 市村一高・豊橋工業専門学校 加藤悠介・（社福）旭市社会福祉協議会（社福）けやき苑・能美市辰口地区民生員児童委員協議会高齢者部会・（社福）長野県社会福祉事業・鹿児島県（社福）あさひヶ丘学園・金沢市社会福祉協議会・小松既労生活センター・NPO法人ウィすく美川・徳田地区社会福祉協議会（社福）彩明会 ロフィス湘南・桜ヶ丘病院・港デイケアセンター・北國新聞社・松原病院・みずほ工業・福井県若狭町社会福祉協議会・金沢倶楽部・昔布創作人形教室・遠布裏人・喜多浩太郎・美川商工会・美川物産協会・富山福祉短期大学

Share金沢

富山県立黒部学園 指導課課長補佐 嗣主幹 橋川英子・（社福）金沢手をつなぐ親の会 家庭教育学級 ぷらんこ学級・ぷらんこ学級委員 山口久子・（社福）友愛会 研修担当 浦西吉岡・石川県特別支援学校部主事会 知的障害教育部門高等部主事 辻口修・富山県立高岡支援学校教諭 米田齊藤・社福）むつみ会 愛育学園・（社福）むつみ会 若草福祉作業所 所長 秋山和紀・中奥増伐社会福祉協議会・石川県立明和特別支援学校 PTA会長 中川由紀江・（社福）宮崎県社会福祉事業団 障害児・者支援施設 ひかり学園 総務係長 黒岩真・（社福）伊丹市社会福祉協議会 伊丹市地域生活支援センター 長 清水健一・石川県立いしかわ特別支援学校 進路課 教諭 彦坂明法・鳴前町地域福祉整備構想委員会 代表（株）となり組・おじゃmamaどれみの会 会長代理 八田眞理子・高岡市手をつなぐ育成会・あいち知多農業協同組合 資産管理課・（社福）松の実福祉会 セルプあさがお 施設長 南藤和明・（社福）かほく市社会福祉協議会・野々市市議会・金沢手をつなぐ親の会・（社福）九頭竜厚生事業団 九頭竜ワークショップ保護者会・（株）フュージョン取締役 高柳裕嗣・あおいとりケアサービス（有）研修担当 高野・公益社団法人 真柄慈祉財団・金沢南ケアセンター 相談課 主任 高橋美也子・（社福）松寿園 ドレミ・石川看護をよくする会・NPO法人プラスワン 担当 萩行恒一

（順不同）（敬称略）

表紙

ソーシャル＆エコ・マガジン「ソトコト」2013年12月号より。Photo by 池田宏

あとがき

最近の西圓寺の人気はアイス。子どもからお年寄りまで「どれにしようかなぁ」と選ぶ。石川県はアイスの消費量日本一。誰もが好きなものが西圓寺に増えた。

三草二木 西圓寺 安倍真紀

発行

妙林栯 75号

社会福祉法人 佛子園
石川県白山市北安田町548番地2
TEL 076-275-0616
MAIL headoffice@bussien.com
HP http://www.bussien.com
発行人 雄谷良成
発行日 平成26年5月28日

佛子園の新たな挑戦を支える人事制度へ

～給与基準改定と施設長トライアル制度の導入～

給与等支給基準が改定されました

法人の規模が拡大する中、職員の働きがいと今後の優秀人材確保を目的として、今年度から給与等支給基準が改定されました。主なポイントは以下の通りです。

1 正規職員給与基準のベースアップ

正規職員給与基準については、新規学卒者の初任給をはじめ、新資格等級の初任月額をベースアップしました。正規職員平均の昇給額は、月額で12,315円、年額では147,783円となります。

2 資格手当の新設

従来の給与基準では基本給に含まれていた資格手当を分離して新設しました。26年度以降に介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の福祉3資格を取得する職員、また管理栄養士資格を持って当該業務に従事する職員について、月額5,000円の資格手当を支給します。

3 専門職給与基準の新設

これまで法人には調理や営業などの分野で専門的知識とスキルを持った人材が活躍してきました。今後の法人の発展方向を見据えた時、調理、店舗サービスや看護、リハビリなど様々な分野で、必要な資格も保有しながら高い貢献が期待されるこれらの職員を「専門職」として位置づけ、独自の給与基準を設けて処遇することとしました。これにより、即戦力人材確保の面で優位性が発揮でき、職員のキャリア形成（マネジメント職を目指すか、専門職を目指すか）にもさらに多様なチャンスを広げることが期待できます。

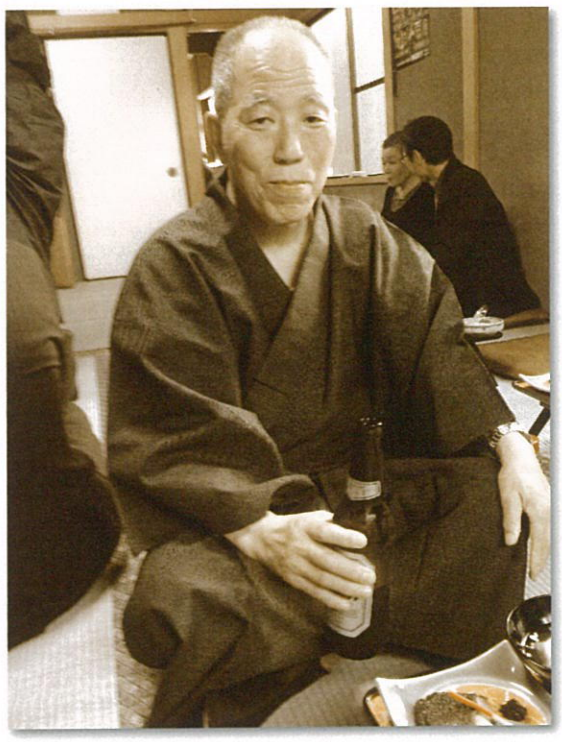
施設長トライアル制度がスタート

法人の次世代を担うことが期待される30代～40代の若い人材に積極的に高い職責への挑戦の機会を与え、処遇の面でもサポートするのがトライアル制度です。26年度は4名の職員が「施設長トライアル」に抜擢されました。4名は施設の運営や人事管理の責任者として、また地域や対外的な場面で施設の顔としての役割に挑んでいます。まさに「自分の後ろには誰もいない、これからは自分の意思決定が施設の方向性を左右する」という覚悟で日々邁進しています。

処遇の面では年額60万円のトライアル手当を支給し、また、代表者会議メンバーとして経営計画の策定や推進に直接参画させ、施設長クラスの会議やセミナーに参加させるなど、法人としてもバックアップしていきます。

佛子園人事担当 西田 宏一郎

佛子園が「いしかわが世界に自慢したい企業・法人15」（ダイヤモンド社2014年1月17日発行）に紹介されました。また、ソーシャル&エコ・マガジン「ソトコト」2013年12月号には、三草二木西圓寺を中心とした佛子園のコミュニティデザインの取り組みが掲載されました。



観天望気

理屈なしのカッコよさである。先日、75才のヘルパーさんからご招待を受けて美川の「おかえり祭り」に参加した。七百年前にはその原型があったとされ、紋付袴を着込んだ進軍ラッパの若衆を先頭に、台車と呼ばれる曳山13台と神輿が練る。決められた十本の道を毎年順番に通ることから、十年に一度の「おかえり筋」に当たる家々は祭りの二日間は誰が来ても贅を極めた御膳にお酒を振る舞う▼主人としてこの「おかえり筋」を迎えるのは五回目だというから、おおよそ四十年。今年はおかえり筋に当らないのでお手伝いに来ているという近所の女性は、「嫁に来てからこの家には二回目のお手伝い。年はもうダブルスコアよ」というから二十年弱は近所づきあいしていることになる▼「地域とは何か?」、いつも「住民が継続性と密着性をもって暮らす場所・区域のこと」と答えている。人は生まれ育つ過程で、その土地の様々な人や物と係わりながら、その経験を通して様々なものを手に入れる。若いときには、その貯金の有無さえも気が付かず、しかし歳を重ねるにつれてその存在は明らかになるのではないか▼高齢・障害に限らず入所系施設を利用される方は、そのような「貯金」を放棄することになりはしないのか。祭りらしい祭りがめっきり少なくなったこの頃、この町の銀行には、「おかえり預金」という商品があるという。来る人拒まずに振る舞うのだから、当然掛かるものは掛かる。それを無駄と切り捨ててしまう昨今・・・▼「理事長、今度もまた来てや」、わかったと即答したものの、十年後、彼は85才、自分も60半ば・・(笑)。酔った頭でなんとなく幸せな感じがした。

（良）

「Share（シェア）金沢」街開きフェスタの全容

特集

2014年3月26日、私たちが目指す新しい街が動きはじめました

私がつくる街 Share（シェア）金沢

私たちにとって、年齢や疾患、障害の有無などに関わらず、自分たちが生まれ育った場所で、あるいは様々な人たちと係わりながらくらしていくことは難しいことなのでしょうか。

二〇〇〇年、介護保険制度が始まり、日本の福祉は「措置」から「契約」へと大きく転換しました。行政が決定し守っていくのではなく、一人ひとりがその人なりの生き方を選び決定していく…。十数年を経て、自分たちが主体的に生きるという意味の「契約」が目指したとおりになっているのかどうか。今、社会福祉法人をはじめ、改めてその在り方が問われています。

二〇二五年、六十五才以上の高齢者数は三六五七万人となり、高齢化がますます進み、認知症高齢者や、世帯主が六十五才以上の単独世帯や夫婦のみの世帯はさらに増加が見込まれています。

様々な人たちを受け止めることができる豊かな地域の在り方とはどのようなものなのでしょうか。安心と安全を感じながらくらすには、医療と福祉の統合と充実は欠かせません。一方で人の生活がそれだけで成り立っていないことも事実です。働き、学び、語り、歌い、食べ、飲み、泣き、笑い…そんな様々なことから成り立っている私たちのくらし。

どのような状況にあっても、その存在を認められ、何らかの役割を担い、必要とされていることを実感できる、そのような街ができるかどうかはわかりません。しかし、この街に関わる私たち一人ひとりにまず何ができるのかをみんなで考えていきたいと思っています。

「Share金沢」街開きフェスタ世話人会

◆代表
社会福祉法人 佛子園 理事長 雄谷 良成

◆副代表
社会福祉法人 佛子園 常務理事 奥村 俊哉
住人倶楽部「絆の社」 幹事 川畑 佳樹
田上校下町会連合会 会長 板谷 睦卓
田上公民館 館長 関戸 正彦
田上二丁目町会 会長 上田 幸男
ウクレレバイナ金沢 代表 藤本 美和
ナガイアキラ Gen
音楽を通してこの街を元気にします!!
加藤キッチンスタジオ 代表 加藤 重和
この街から新しい食スタイルを発信します。
ボディケア&からだ塾 金澤東山ゆらり 代表 吉原 みゆき
温めはゴッドボディケアで、この街の人たちを元気に穏やかにします。
NPO法人 GAIA自然学校 代表 成田 裕
大人もこどもも自然のなかでのびのびと、共に元気な街づくりをします。
株式会社 グルーヴィ 代表 下田 武央
様々な主体を織りなし価値を生み出して、かつてない優しいコミュニティをデザインします。
株式会社 五井建築設計研究所 代表取締役 西川 英治
TARAYANA JAPAN ソナム・デマ
色彩豊かなブータンの手仕事をこの街から発進します。
ハンズ・プラス 代表 大久保雅之
一つひとつ一事に、この街だけのプラスワンのサービスで街をおもいっきりきれいにします。
一般社団法人 地域スポーツシステム研究所 所長 榎 敏弘
スポーツから生まれる人とのつながりで、社会活躍する人材をこの街で育てていきます。
Pub-ish Bar Mock 店長 北村 悦子
美味しいお酒と心から楽しめる音楽で、街を彩らせます。

職員は黒子

Share金沢の丸いロゴマーク。温泉やしいの木、アルパカ等、Share金沢を示すもの以外に、浅野川の友禅流しや大学のマークといったその周辺のものも描かれている。私たちは、ここにいろんな方々が関わり合う新たな街をつくったが、決してShareの中だけで完結することなく、地域全体で交わろうとする姿をこのロゴマークで表現した。

そして、さらによく見てほしい。この円状のマークからちょっとはみ出た黒い何か。これは黒子であり、私たち佛子園のあるべき姿を示している。

私たちが先頭に立って支援するのではなく、住民同士の自発的な活動や関わり合いをいつもそっと気に掛け、必要な時に影でお手伝いする、そういう存在になりたいと思っている。

Share KANAZAWA 街開きフェスタ!! Opening Festa!

Share金沢（シェア）
金沢市若松町セ104番地1 〒920-1165
Tel.076-256-1010 Fax.076-256-1020
URL：http://share-kanazawa.com

雨の中、大勢の人たちで街の中が賑わいをみせる

13:00〜 記念式典 at S-Stadium

午後1時から始まった記念式典には、ブータン王国のドルジ・ウォンモ・ワンチュク皇太后陛下、谷本正憲石川県知事をはじめ海外や日本全国から200名超のご来賓の出席を賜り、住民や近所の方も含め皆でShare金沢の全面オープンを祝った（主催者挨拶および各ご来賓のご祝辞内容は別紙をご覧ください）。

当日は、午前11時半から午後7時まで、Share金沢の街全体で、住民がそれぞれ趣向をこらしたブース販売や催し物が行われ、雨にもかかわらず大勢の人で賑わった。

17:30〜 記念対談「福祉で描くコミュニティデザイン」at 本館

アントニー・ミレナー氏（オランダ・発達と障害のオランダ連合理事）
雄谷 良成（社会福祉法人佛子園 理事長）

ボランティアした分を将来にデポジット!?

オランダはこれまで社会保障制度で福祉を充実させてきたが、財政的に全てのことを公的サービスで賄うのが難しくなっている。そこで継続的に続けられる仕組みとして、自分がボランティアした時間を貯めておき、将来支援してもらうために、地域通貨を導入するのはどうか。誰しも支援されるだけではなく自分もお返しがしたいと思うのは自然なことで、支援を受けた人が今度は別の人へというように支援の輪が広がっていく。

どんなに障害が重くても他者のために貢献できる

佛子園には、他者のために活動することが難しい重度心身障害者の方が利用しているが、重い障害があってもその方の存在そのものが周囲の人たちを幸せにしているという事例がある。西圓寺に通っている高齢者デイの認知症の女性が、車椅子の障害者の方へのお世話を買って出るようになり、今では「私が居なきゃ」と生き生きと西圓寺に通っている。

今、ここで生まれる関係を他者と分かち合うことが幸せにつながる

どんなに障害の重い方でも何らかの方法でお返しをしてくれている。私たちはそれに気づいて受け取ってあげなければならない。そのために有用な方法がジェントルティーチング（＊1）。（ちなみに佛子園の基本方針とジェントルティーチングの内容は非常に共通点が多い）「Share」というこの街の名前にもあるように、今、ここで生まれる関係、幸せを他者と分かち合うことこそが、人間の幸せにつながる。

Shareの街づくりのベースはバタンランゲージ

Share金沢の街並みをつくる際には、建築分野の名著と言われる「パタンランゲージ」やWHOの「人にやさしい町づくり」に掲げられているいくつかの要素を意識的に取り入れている。Shareの街の中では、家の中で過ごしていても窓越しに隣の人や、家の間を行き交う小道を歩く人と視線が交わるように設計してある。

もともと趣味で銀細工をしていたサービス付き高齢者向け住宅（以下サ高住）に暮らす女性は、街の人と関わりを持つ中で銀細工教室を始めたいと提案し、今では近所の主婦達が彼女の教室に通ってきている。また、先日Shareの中を歩いていたら、アトリエ付住宅に住む美大生が留学生を招いて、外でワインをかわしながらホームパーティをしているのを目にした。この街では職員はあくまで黒子。住民同士の関わりの中で自然発生的に相互支援が生まれてきている。

今、サ高住に末期がんの方が入居を希望されている。医療設備やスタッフがいない中、どこまでそのニーズを受けきれるのか現場で検討を重ねている。ご本人も医療的なケアが無いということを承知で、人生の最後をこの街で暮らしたいと言ってくださった。その思いを受け止めたい。

＊1 アメリカのジョン・マクギー氏が提唱した疎外されやすい人たちとの関わりの手法。ジェントルティーチングの柱は、安全であること、関わり合うこと、愛されること、愛すること の4つ。すべての暴力を除し、相手を変える前にまずは自分から変容することが支援者には求められ、思いやりと無条件の愛情によりり相手の安心感と自尊心を高めていくことで本人の変容ひいてはコミュニティの形成へと導いていく。本人への愛情や安心感を示す道具は私たちのまなざし、笑顔、やさしい言葉がけやボディタッチなど自分たち自身であるというのも特徴。

ブータンからの研修員 ソナム・デマも大奮闘

平成25年10月よりタラヤナ財団のプロダクト担当ソナム・デマが金沢美術工芸大学や金沢大学、（株）グルーヴィの協力のもと、Share金沢に住み込みながらデザイン等の研修に励んでいる。サービス付き高齢者住宅に住む方々からは孫のように可愛がられ、休日はいつも外出に連れていってもらっている。

そのソナムが街開きの日は朝から大忙しだった。この日のために考案されたブータン産乾麺で作ったブータン風お蕎麦づくりに休む暇もなかったが、蕎麦にチーズと川海苔という意外な組み合わせが案外受け、蕎麦はあっという間に完売した。

ブータン王国皇太后のペインティングに期待する子どもたち

Mockテラスライブ アンデスグループ「WAYNO」

ブラジル、ミャンマーの留学生による屋台大好評!!

ロールケーキづくり体験教室

田上2丁目の綿菓子の屋台には物珍しそうに見入る子どもたちの行列ができている

ウクレレバイナ大勢の前で真剣に弾く子どもたち

ガイア自然学校による街の中の木を使ってツリークライミング

15:00〜 記念講演会「ブータンに学ぶ福祉の本質」at S-Stadium

1 記念講演 「ブータン：GNHとタラヤナ財団の活動」
チメ・P・ウォンディ氏（タラヤナ財団 事務局長）

2 活動紹介 発表1 ジグミ・ウォンモ氏（ダクツォ 所長）
発表2 ベダ・ギリ氏（ブータン能力協会 所長）
発表3 ソナム・ウォンモ氏（ブータン障害者協会 所長）

佛子園ブータンプロジェクト
〜JICA草の根技術協力事業がスタート〜

今年の1月よりJICAの支援を受けて、タラヤナ財団との草の根技術協力事業が始動した。国の障害者施策が整っていないブータンにおいて、福祉従事者の人材育成やソーシャルインクルージョンの理解促進など支援の質の向上をはかることを目的とし、今後3年間で研修生の受入れや障害者の実態調査と普及啓発活動など様々な活動を予定している。

講演会では、国としての福祉的整備は整っていない中においても、国・地域の文化や風土を大切にし、GNHの実践にもとづきながら一歩ずつ進めていきたいという強い志を各団体から感じることができた。

チメ・P・ウォンディ氏

ブータン王国の皇太后陛下が来日!

タラヤナ財団からは財団創設者で総統のドルジ・ウォンモ・ワンチュク皇太后陛下も来日し、佛子園の各施設やシェア金沢の街開きフェスタ、三越日本橋本店で開催されたブータンフェア（佛子園特別協賛）へ足を運んでいただいた。初めての来県と佛子園のご訪問は皇太后陛下に強い印象を持っていただけたようである（記念式典ご祝辞参照）。

住民が出資して自分たちで運営する「若松共同売店」

「共同売店」とは、住民が出資し住民同士で話し合って、商品調達や販売、売上管理、利益分配等を自分たちで行う小規模商店と言ったところだろうか。今から100年以上前に沖縄で誕生した共同売店だが、大型店やコンビニが乱立する現在においてもなお、沖縄本島北部や奄美などの離島において存続している。

「若松共同売店」はそれを真似てつくった共同売店で、住民が日用品や食料品を買い求めに来る他、ガイア自然学校やPSI（地域スポーツシステム研究所）へ通ってくる子供たちの良いたまり場にもなっている。サービス付き高齢者住宅に住む方々も交替で店番を行い、レジの計算が合っているか子どもたちに確認している姿も微笑ましい。